

二俣川ニュータウン
社協だより

第116号
2019(令和元)年
12月14日発行
◆発行人
二俣川ニュータウン地区
社会福祉協議会
会長 宮寺良孝
◆編集人
福本唯美子

和やかで温かなひととき
「敬老のつどい」開催

連合町内会と地区社協の
共催による「敬老のつどい」
が9月28日(土)午前10時よ
り旭中学校体育館で開催さ
れ、今年は来賓の方々を含め
362名が集いました。



オープニングは、恒例の旭
中学校吹奏楽部の演奏に始
まり、野本實連合町内会長
が挨拶。ニュータウンの人口
1万1911人に対し65歳
以上は4098人(34.4
%)、75歳以上は2478
人(20.8%)に達しているこ

とや、百歳以上の方が6名
(男性2名、女性4名)お住
まいで、最高齢者は103歳
であることが報告され
ました。

来賓を代表しての下田康
晴旭区長のご祝辞では、旭
区内に百歳以上の長寿者が
149名いらっしゃるこ
う、うち男性が18名、女性13
1名という内訳を伺い、会場
にどよめき!?が起こりまし
た。



アトラクションでは、29年の
歴史を誇るコーラス・コスモ
スが「幸せなら手をたたこう」
『津軽海峡冬景色』を披露。



続いて中沢小学校合唱団
の「わたしはこねこ」(NHK
音楽コンクール課題曲)、
『歌え地球の子供たち』同
コンクール自由曲)が会場
を魅了。「ふるさと」は会場
の参加者とともに歌いまし

た。なお、旭中学校吹奏楽
部は音楽コンクール神奈川
県大会で金賞、中沢小学校
合唱団はNHKの関東甲信
越大会で銅賞をそれぞれ受
賞しています。

続いて創立45周年を迎え
た横浜市職員落語愛好会
3名の方が「和芸・曲芸」講
談、「落語」を熱演、場内も
笑いに包まれ和やかな雰
囲気になりました。



その後は、恒例のビンゴ
大会。ジュニアホランダイア
や中学生の皆さんも一生懸
命に景品を渡してくれまし
た。大盛況のなか無事閉会
となり、参加者の皆さんも
喜んでお帰りいただきました
と思います。

皆さん、来年も元気でお
会いしましょう！

北二・北五が三連覇
第42回ニュータウン大運動会

台風19号の影響で延期となっ
ていた二俣川ニュータウン連合
町内会主催(第42回大運動会)が
11月4日(月・振替休日)、快
晴の空の下、中沢小学校校庭で
開催されました。連覇中の北二
北五町内会による優勝杯返還
と選手宣誓に続き、体操クラブ
の方の号令による準備運動で
スタート。



今年もまた小さな子どもた
ちからお年寄りまで大勢の参
加者が、それぞれの種目を楽し
く、真剣に頑張りました。



「運動会の思い出」
西部 5年生 土屋愛花

台風で延期になってしまっ
ていた運動会。あめ臭い競争は、
白い粉が顔に付いて大変だった
けど、色々な競技に出られて楽
しかったです。順位は2位だっ
たので、とても楽しく盛り上
がった運動会でした。来年は最
後なので、頑張って「優勝」を
目指して、一致団結し、最後は
「楽しかった」と、思い出に残る
運動会にしたいと思います。

障害物競走に始まり、町内対
抗のジャンボ縄跳び、綱引き、リ
レー等、選手と観客が一体となっ
て盛り上がりも最高潮。中でも
「マル得・早いもの勝ち」では若
いお母さんやお父さんがお目当
の賞品に突進。二人三脚では
親子チームでの出場が多く、身
長の違いを乗り越え頑張りました。
今年も北二・北五町内会(ピ
ンク)が優勝、見事なる三連覇
を果たしました。

今日は、家族、地域とのきず
なを大切に、楽しい思い出がで
きた運動会となったことによ
う。

私は、ニュータウン運動会にさ
んかしました。その中で一番楽
しかったきょうきは、「二人三
きやくです。お父さんといっしょ
にさんかして、待っている時ド
キドキしました。今回は一位に
なれたので来年も一位になりた
いです。2番目は、ふれあいたず
ね人です。私はお題が「黒い服
をきたお母さん」でした。きょ
年いっしょに走った友だちのお
母さんが、たまたま黒い服をき
ていたの、いっしょにわらいな
がらゴールしました。来年もま
たさんかしたいです。

北五 3年生 藤田琴羽

「楽しかったよ運動会」

暮らしに安心と潤いを——ボランティア団体紹介②

「サロンあさひ」

○設立は2003年6月。来年で17年目を迎えます。

創設されたときの目的は、二俣川ニュータウンや近隣に住まわれている方々が、体操や脳トレ(麻雀や手芸など)のサロン活動を通して、地域の交流を深め、体力を維持することでした。今宿ホーム特別養護老人ホームのホールをお借りできたことは、幸運でした。(昼食も今宿ホームで作っていたいております)

おかげさまで、現在も当初の目的に沿った活動が続けられており、感謝です。



サロンあさひ 麻雀

○対象は70歳以上の方、中途障害の方々です。

歳を重ねてまいりますと、自宅から今宿ホームのホール(特別養護老人施設まで通うことが困難でいつの間にかお姿が見えなくなり、スタッフ同さびしいおみに駆られる時もあります。とは言え90歳を過ぎて一人で歩いて参加される方もいらっしゃいます。最高齢の方は98歳です。昨年(平成30年)1年間の参加

人数は608人で、そのうち半日だけ参加する方は267人でした。



サロンあさひ 太極拳

○サロンあさひは、いつ開かれていくのでしょうか。

年間を通じて毎週金曜日です。(ただし1月の1・2週、8月中、12月の3・4週と、月の5週目はお休みです)

一週目	太極拳	昼食	もぎり輪 麻雀 囲碁 将棋
二週目	浜ちゃん体操 輪投げ	昼食	百人一首 麻雀 囲碁 将棋
三週目	太極拳	昼食	俳句 麻雀 囲碁 将棋
四週目	浜ちゃん体操 輪投げ	昼食	麻雀 囲碁 将棋

*利用料は一日参加400円(昼食代を含みます)。半日参加100円です。

昼食を希望される方は、11時までにお出ください。
*サロンあさひの利用を希望される方、またはボランティアをしていただける方、是非お越しください。スタッフ一同お待ちしております。

高齢者昼食会「萌ぎ会」



「萌ぎ会」は75歳以上の方、または70歳以上のお一人暮らしの方に外出の機会と交流の場として、月1回、手作りの食事を提供している団体です。

亀田前代表が27年前に始めて以来、特に衛生面に留意し、無事故で今日を迎えました。会食・懇談・ゲームを通して、会員とボランティアの方々が親睦を図っています。

現在会員数は50名、ボランティアは21名です。食事作りは3班に分けローテーションを組んでいます。ゲームに熱中し、大きな声で笑う皆さんの姿に、ボランティアとしてのやりがいを感じます。食の安全・安心を心掛け、会員の皆さんが、この街で明るく元気な毎日を送る一助となるよう、ボランティア一同がんばります。

開催日 毎月第2水曜日(12時~14時)
場所 ニュータウン連合町内会館
会費 500円
代表 飯塚美津代
☎(363)0001



「赤い羽根街頭募金」に協力



10月2日(水)、二俣川NT社協より会長はじめ役員4名、福祉協力員10名、各ボランティア団体、民生委員、中沢小学校ジュニアボランティア7名が二俣川駅北口駅頭に立ち募金活動を行いました。午前10時のスタートから午後5時、無事に活動終了。子どもたちも自分が頑張った募金をしたお金が社会の役に立つという、貴重な体験ができたことと思います。



募金額は5万7644円。区内社協街頭募金合計は162万9千円でした。皆さまのご協力ありがとうございました。

◆お知らせ◆

社協「もちつき大会」

日時:2月1日(土) 10時~12時
雨天の時は2月2日(日)に順延
会場:中沢小学校 校庭
参加費:1人100円(中学生以下無料)

ちぎりもち(あんこ・きなこ・みたらし・大根おろし)
豚汁(中沢小防災拠点運営委員会による炊き出し)



ボランティア団体の活動日程

- 高齢者昼食会「萌ぎ会」
代表 飯塚(363-0001)
12月11日・1月8日・2月12日(第2水曜日 12時~14時)
- 健康と趣味のサロン「サロンあさひ」
代表 小澤(954-0322)
10時30分~15時
(第2金曜日のみ11時~12月6日・13日
1月17日・24日)
- お茶会サロン「さんさん」
代表 宮寺(361-7451)
12月25日・1月22日・2月26日
原則第4水曜日 11時~14時
- 男の料理教室「男の食彩NT」
代表 半澤(365-6405)
12月10日・1月14日・2月11日(原則として第2火曜日 9時~)
●コーラス「コーラスコスモス」
代表 水野(362-0693)
12月3日・10日・17日・24日
1月7日・14日・21日・28日
2月4日・11日・18日・25日
原則毎週火曜日 10時~
- 子育てサロン「わいわいクラブ」
代表 関川(951-1804)
12月19日・1月16日・2月20日
原則第3木曜日 10時~11時45分
- 生活支援「チヨコットしんたい」
代表 春田(361-4998)
申込み(土日祝を除く13時~21時)
坂東(369-2828)
(090-1694-0584)
- ニュータウン第4金曜倶楽部「スマイル体操」
代表 金巻(955-2861)
12月27日・1月24日・2月28日
原則第4金曜日 10時~11時30分

【編集後記】わが国のコミュニティ政策は、急速な経済成長が人々の生活に与えた影響に対応するべく昭和40年頃から始まりました。時は変わり、今では社会の高齢化による地域コミュニティの衰退が課題となっています。どうすればコミュニティの活性化が図れるのか。▶高齢者による子育て支援、住民による住民のための仕事の創出、移動手段や交流拠点の確保など、全国各地で始められている先進的な試みを私たちが大いに学んでいきたいと思ひます。 [編集委員] 福本瑠美子 小川美枝子 石村保子 中山美由紀 小野寺慎一郎